

# 平成30年度 定期作況報告

(7月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

6月下旬:平均気温は平年より0.7℃低く、降水量は平年の204%、日照時間は平年の40%であり、多雨・寡照に経過した。

7月上旬:平均気温は平年より2.8℃低く、降水量は平年の428%、日照時間は平年の32%であり、低温・多雨・寡照に経過した。

7月中旬:平均気温は平年並で、降水量は平年の191%、日照時間は平年の84%であり、多雨に経過した。

6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は平年の274%、日照時間は平年の51%であった。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	17.5	18.2	△ 0.7	17.5	20.3	△ 2.8	20.5	20.5	0.0	18.5	19.7	△ 1.2
最高気温(℃)	21.4	23.8	△ 2.4	20.9	25.7	△ 4.8	25.3	25.5	△ 0.2	22.5	25.0	△ 2.5
最低気温(℃)	13.8	13.8	0.0	14.4	16.4	△ 2.0	16.8	16.8	0.0	15.0	15.7	△ 0.7
降水量(mm)	49.0	24.0	25.0	133.5	31.2	102.3	72.5	37.9	34.6	255.0	93.1	161.9
日照時間(hr)	25.9	64.7	△ 38.8	18.8	58.3	△ 39.5	47.8	56.8	△ 9.0	92.5	179.8	△ 87.3

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

7月20日 不良

事由:6月5半旬から7月3半旬にかけて低温・寡照で経過したため、生育が緩慢となり、幼穂形成期は平年より3日、止葉始は平年より4～5日それぞれ遅かった。草丈は平年より9.6～12.0cm短く、㎡あたり茎数は平年より22～36%少なく、主稈葉数は平年より0.3～0.6枚少ない。

以上により、現在の作況は、不良である。

参考

6月20日 やや不良

事由:5月下旬から6月上旬にかけて、平均気温は平年並からやや高く、多照で経過したため、活着は良好で旺盛な生育を示した。その後、6月8日から18日にかけての平均気温は平年を断続的に下回り、寡照で経過したため、生育は停滞し、葉色は黄化した。㎡あたり茎数は293～379本で平年並からやや下回り、草丈および主稈葉数はそれぞれ27.5cm、6.5～6.9枚で平年をやや下回っている。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

5月20日 平年並

事由:播種は平年並の4月17日に行った。播種後から4月5半旬にかけて高温に経過したため、出芽期は播種後5日目であった。5月上旬は低温・寡照で経過したことから苗の生育は緩慢となったが、5月3半旬には高温・多照で経過したため、生育は回復傾向を示した。移植は平年より2日早い5月18日に行った。

移植時の苗において、茎数および主稈葉数は概ね平年並であった。草丈は10.1～11.3cmで平年並からやや下回った。100本あたりの地上部乾物重は2.02～2.20gで平年並からやや下回ったが、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.19～0.20と概ね平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0	
移植期 (月.日)	5.18	5.20	△ 2	5.18	5.20	△ 2	
幼穂形成期 (月.日)	7.05	7.02	3	7.05	7.02	3	
止葉始 (月.日)	7.18	7.13	5	7.19	7.15	4	
出穂期 (月.日)		7.28			7.28		
成熟期 (月.日)		9.15			9.14		
穂揃日数 (日)		6.8			7.0		
登熟日数 (日)		49			48		
生育日数 (日)		151			150		
移植時地上部乾物重 (g/100本)	2.02	2.27	△ 0.25	2.20	2.23	△ 0.03	
草丈 (cm)	移植時	10.1	11.1	△ 1.0	11.3	10.8	0.5
	6月20日	27.5	28.9	△ 1.4	27.5	28.9	△ 1.4
	7月20日	57.1	69.1	△ 12.0	59.3	68.9	△ 9.6
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	293	325	△ 32	379	358	21
	7月20日	505	783	△ 278	664	854	△ 190
主稈葉数 (枚)	移植時	3.0	3.1	△ 0.1	3.4	3.2	0.2
	6月20日	6.5	6.9	△ 0.4	6.9	7.1	△ 0.2
	7月20日	9.8	10.1	△ 0.3	10.0	10.6	△ 0.6
	止葉		10.2		10.6		
稈長 (cm)		69.0			67.0		
穂長 (cm)		16.4			16.6		
穂数 (本/m <sup>2</sup> )		722			786		
一穂粒数 (粒/本)		48.9			41.1		
m <sup>2</sup> あたり粒数 (百粒)		353			323		
稔実歩合 (%)		93.7			93.7		
登熟歩合 (%)		86.8			82.4		
籾摺歩合 (%)		77.8			74.7		
屑米歩合 (%)		5.4			8.6		
精玄米千粒重 (g)		22.7			23.3		
わら重 (kg/a)		66.9			65.4		
精籾重 (kg/a)		78.7			76.6		
精玄米重 (kg/a)		61.2			57.2		
屑米重 (kg/a)		3.5			5.4		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、25年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=7.0-8.5-6.0 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3) 刈り取り面積は一区3.96m<sup>2</sup>。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

6月下旬：平均気温は平年より0.8℃低く、降水量は平年の175%、日照時間は平年の45%であり、多雨、寡照に経過した。

7月上旬：平均気温は平年より2.4℃低く、降水量は平年の483%、日照時間は平年の32%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

7月中旬：平均気温は平年より0.5℃低く、降水量は平年の77%、日照時間は平年の68%であり、少雨、寡照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より1.2℃低く、降水量は平年の222%、日照時間は平年の49%であり、低温、多雨、寡照に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.8	23.0	△ 2.2	20.8	24.8	△ 4.0	24.0	24.6	△ 0.6	21.9	24.1	△ 2.2
最低気温(℃)	13.1	13.2	△ 0.1	14.5	15.5	△ 1.0	16.0	16.1	△ 0.1	14.5	14.9	△ 0.4
平均気温(℃)	16.8	17.6	△ 0.8	17.2	19.6	△ 2.4	19.4	19.9	△ 0.5	17.8	19.0	△ 1.2
降水量(mm)	43.5	24.8	18.7	125.0	25.9	99.1	29.5	38.5	△ 9.0	198.0	89.2	108.8
降水日数(日)	5.0	1.7	3.3	7.0	1.9	5.1	3.0	1.7	1.3	15.0	5.3	9.7
日照時間(hr)	25.7	57.0	△ 31.3	15.5	49.0	△ 33.5	35.0	51.1	△ 16.1	76.2	157.1	△ 80.9

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(平成29年播種)

平成29年9月20日作況：やや不良

事由：9月4半旬以降の降雨のため、9月20日現在で播種作業が終了していない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成29年10月20日作況：やや不良

事由：播種期は平年より2日遅い9月22日であった。出芽は良好で、出芽期は平年より1日遅い9月29日であった。10月中旬は低温で推移したため、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年を大きく下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成30年5月20日作況：平年並

事由：越冬前の茎数は秋期の低温傾向のため平年を下回った。根雪始は平年より3日早い12月5日で、根雪終は3月24日（融雪剤散布）と平年より6日早く、積雪期間は平年より4日短い113日であった。雪腐病による冬損は軽微で、越冬後の茎数はほぼ平年並に回復した。3～4月の気温が高めに推移したこともあり、5月20日現在の草丈は平年を上回っている一方、茎数は平年を下回ったが、減少に転ずる時期が前倒しに推移したためとみられた。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成30年6月20日作況：やや不良

事由：5月5半旬以降、6月8日まで半月以上まとまった降雨が無く乾燥傾向に推移し、草丈の伸長が緩慢となる一方、茎数の減少が急速に進み、出穂期は平年より4日早まった。6月20日現在で草丈、茎数ともに平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成30年7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬～7月上旬まで低温多雨傾向であったが、4半旬以降の天候の回復とともに登熟が進み、成熟期は平年より1日早い7月17日であった。平年と比較し、成熟期における稈長は12cm短く、穂長もやや短く、穂数は13%少なかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H29.月.日)	9.22	9.20	2
出芽期	(H29.月.日)	9.29	9.28	1
出穂期	(H30.月.日)	6.2	6.6	△4
成熟期	(H30.月.日)	7.17	7.18	△1
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.5	0.7	△ 0.2
草 丈 (cm)	H29.10.20	14.2	18.6	△ 4.4
	H30.5.20	47.4	43.1	4.3
	H30.6.20	84.4	95.8	△ 11.4
茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	H29.10.20	475	574	△ 99
	越冬前(11月)	911	1214	△ 303
	越冬後(4月)	1781	1738	43
	H30.5.20	1080	1278	△ 198
	H30.6.20	555	722	△ 167
成熟期に おける	稈長 (cm)	76	88	△ 12
	穂長 (cm)	8.4	8.9	△ 0.5
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	569	656	△ 87
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.3	△ 0.3
子実重	(kg/10a)		713	
容積重	(g/l)		813	
千粒重	(g)		38.8	
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比 (%)			100	

注1) 平年値: 前7か年中、平成28年(最凶)、平成29年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

## 2. 春まき小麦

5月20日作況: 平年並

事由: 根雪終(融雪剤散布)は、平年より6日早い3月24日であった。播種期は平年より2日遅い4月18日、出芽期はほぼ平年並みの4月30日(「春よ恋」と5月1日(「はるきらり」)であった。5月上旬の気温がやや低く、生育は緩慢となったが、5月中旬の気温がやや高かったため、生育は回復しつつある。草丈は平年並で、茎数は平年並からやや下回っている。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況: やや不良

事由: 5月下旬～6月上旬の気温が平年より高く推移したため、出穂期は1～2日早まった。5月20日～6月7日の間、降水量が少なく干ばつ傾向となったため、草丈は短くなり平年を10cm下回っている。茎数も平年比86～93%と少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況: 不良

事由: 稈長は平年並、穂長はやや長めで、穂数は少ない。開花期にあたる6月下旬以降、7月上旬まで断続的な降雨が続いた。そのため、両品種とも赤かび病が多発しており、収量・品質への影響が懸念される。倒伏は軽微である。

以上により、現在の作況は不良である。

項目 \ 年次	品種名	春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.18	4.16	2	4.18	4.16	2
出芽期	(月.日)	4.30	4.30	0	5.01	4.30	1
出穂期	(月.日)	6.16	6.17	△ 1	6.13	6.15	△ 2
成熟期	(月.日)		7.29			7.31	
草丈 (cm)	5月20日	21.4	22.1	△ 0.7	22.4	23.8	△ 1.4
	6月20日	73	83	△ 10	74	84	△ 10
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	598	640	△ 42	608	604	4
	6月20日	681	730	△ 49	602	694	△ 92
7月20日 または 成熟期 の	稈長 (cm)	92	93	△ 1	90	90	0
	穂長 (cm)	8.8	8.3	0.5	7.9	7.5	0.4
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	407	511	△ 104	386	500	△ 114
子実重	(kg/10a)		469			487	
千粒重	(g)		39.1			42.9	
リットル重	(g)		794			796	
品質	(等級)		1等			1等	
子実重平年対比	(%)		100			100	

(注) 平年値は前7カ年中、平成23年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

### 3. 大豆

6月20日 やや不良

事由:播種期は平年と同日の5月22日であった。出芽期は平年より2日遅かった。播種後、6月7日まで降水量が少なかったため、出芽はばらつきが大きかった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数もやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日 不良

事由:6月下旬以降の低温と日照不足により、生育は遅れており、開花期に達していない。主茎長、主茎節数、分枝数のいずれも平年を下回っている。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名		トヨムスメ		
		項目 \ 年次	本年	平年
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.5	6.3	2
開花期	(月.日)		7.16	
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	8.5	10.7	△ 2.2
	7月20日	29.0	41.1	△ 12.1
	8月20日		52.8	
	9月20日		52.8	
	成熟期		53.0	
主茎節数 (節)	6月20日	2.5	2.9	△ 0.4
	7月20日	7.7	9.5	△ 1.8
	8月20日		10.0	
	9月20日		9.9	
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	4.7	6.7	△ 2.0
	8月20日		7.2	
	9月20日		7.0	
	成熟期		6.8	
着莢数 (莢/株)	8月20日		75.1	
	9月20日		69.6	
	成熟期		68.8	
一莢内粒数			1.89	
子実重 (kg/10a)			410	
百粒重 (g)			38.4	
屑粒率 (%)			1.0	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成24年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。



#### 4. 小豆

6月20日作況：不良

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。播種後、6月8日の降雨まで干ばつ傾向で経過した。また、6月中旬が低温で経過した。このため、出芽は不揃いで遅れており、調査時点での出芽率は約20%と出芽期に至っていない。出芽した個体についても、生育は停滞している。

以上により、現在の作況は不良である。

7月20日作況：不良

事由：播種後、乾燥・低温傾向で推移したことから出芽が遅れ、出芽期は平年より11日遅い6月23日であった。出芽後も低温寡照に推移したことから生育は停滞しており、主茎長、主茎節数ならびに分枝数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.25	△ 2
出芽期	(月.日)	6.23	6.12	11
開花期	(月.日)		7.24	
成熟期	(月.日)		9.07	
主茎長 (cm)	6月20日	(2.4)	3.5	—
	7月20日	11.5	20.2	△ 8.7
	8月20日		64.6	
	成熟期		64.0	
主茎節数 (節)	6月20日	(1.1)	1.3	—
	7月20日	4.9	9.0	△ 4.1
	8月20日		14.6	
	成熟期		14.5	
分枝数 (本/株)	7月20日	0.2	3.5	△ 3.3
	8月20日		3.8	
	成熟期		3.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日		63.1	
	成熟期		53.8	
一莢内粒数			6.00	
子実重	(kg/10a)		314	
百粒重	(g)		12.6	
屑粒率	(%)		4.8	
品質	(等級)		4上	—
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均  
注2) ()内は、6月20日時点で出芽していた個体を調査。

出芽期に至っていないため、参考値である。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より6日早い3月27日で、植付期は平年より1日早い4月25日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：萌芽期は平年より2日早い5月22日、開花始は平年より1日早い6月20日であった。茎長、茎数ともに平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬～7月上旬が多雨、寡照に推移したが、地上部の生育への影響は比較的小さく、茎長は平年よりやや短い、茎数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.25	4.26	△ 1
萌芽期	(月.日)	5.22	5.24	△ 2
開花始	(月.日)	6.20	6.21	△ 1
枯凋期	(月.日)		8.19	
茎長	6月20日	35	36	△ 1
(cm)	7月20日	45	49	△ 4
茎数	6月20日	4.5	4.4	0.1
(本/株)	7月20日	5.2	4.3	0.9
8月20日における				
上いも数	(個/株)		11.5	
上いも平均一個重(g)			91	
上いも重	(kg/10a)		4577	
でん粉価	(%)		15.2	
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		11.9	
上いも平均一個重(g)			89	
上いも重	(kg/10a)		4653	
中以上いも重(kg/10a)			3943	
でん粉価	(%)		15.1	
上いも重平年対比	(%)		100	
中以上いも重	〃 (%)		100	
でん粉価	〃 (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最凶)、28年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。